

# 管内の百名山 「巻機山」

新潟県南魚沼市の東側、坂戸山、金城山から続く尾根の向こうに大きくそびえる秀峰が巻機山（標高1,967㍎）です。古くから機織りの神様として信仰されていたことが山名の由来です。

登山ルートは、南側山麓の南魚沼市清水集落から井戸尾根を往復する井戸尾根コース（歩程約8時間）が一般的です。桜坂駐車場を出発して6合目付近まではブナなどの広葉樹林が続き、8合目を過ぎてニセ巻機山（標高1,861㍎）と呼ばれるピークにたどり着くと、巻機山の山頂周辺に広がる広大なチシマザサの草原とオオシラビソの樹林帯が一望できます。そこから1時間弱で巻機山の頂に着きます。チシマザサ草原の中の登山道脇には、雪田や池塘（高山の湿原や泥炭地にある池沼）が散在し、イワイチョウ、ハクサンコザクラ、ニッコウキスゲなどの植物が疲れを癒してくれます。



山頂周辺に広がるササ草原



黄金色に輝く田んぼから望む巻機山



バイオトイレ（利用後は前に20回、後ろに10回）

ニセ巻機山から山頂側に15分程下ったところには、平成16年に全面改築された「巻機山避難小屋」があります。この避難小屋には電気を全く使わない攪拌式バイオトイレが設置されています。なんと動力源は登山者自身です。このトイレを始め小屋の維持管理をボランティアで長年続けているのが、巻機山をこよなく愛する地元のグループ「巻友会」です。

巻友会の会員は、現在24名、登山者の多い6月から9月の間は、毎週2人ずつ交代で避難小屋まで登り、バイオトイレの点検や清掃、小屋とその周辺の環境整備等を行っています。避難小屋がいつも綺麗で気持ちよく使えるのは、このような地元の方々の地道な取組のおかげです。感謝、感謝です！！



避難小屋と巻友会の皆さん

巻機山は、中越森林管理署管内にある2箇所の森林生態系保護地域を結ぶ形で設定されている「緑の回廊三国線」（延長約56㍎）に含まれており、当署では、一帯の貴重な自然環境を後世に残すため、これからも森林の維持・保全に努めていきたいと考えています。

（中越森林管理署長 枝澤 修）